

(様式 2)

令和 5 年 4 月 2 8 日

女性の就農環境改善計画

(令和 4 年度女性の就農環境改善支援事業)

実施するメニュー (該当に○)	第 4 の (1) (施設等確保の取組)	○
	第 4 の (2) (グループの新たな取組)	

1 地域取組主体の概要

名称	有限会社伊藤畜産	
所在地	北海道根室市明郷101番地	
代表者	代表取締役 伊藤泰通	
主な組織の事業内容 (注)	<p>当社は、酪農業をメインとする畜産部門、レストラン営業・食肉加工販売をメインとする店舗部門の 2 つから構成されている。その概要を以下に示す。</p> <p>① 畜産部門； 所有総面積 280ha、乳用種 430 頭 (内経産牛 260 頭) 肉用種 (日本短角種) 42 頭、R5 年度予定生乳出荷量 1,890t 地域の中核的農場と位置付けられている会社である。また、酪農教育ファーム認証牧場でもある。</p> <p>また、当社はホルスタイン牛が主体であるが、牛乳の乳脂肪分は、道内平均 4.0% に対し、当社製は年平均 4.2% である。そのため濃厚さが特徴である。この特徴を生かし、農協と取引するのが一般的だが上質のカフェオレを目指す飲食店事業者と直接取引も行っている。</p> <p>② 店舗部門； (レストラン営業・食肉加工販売) 農業の自由化に対応するため、および地域の雇用創出と地域振興のため H12 年に喫茶営業 (店名：グラッシーヒル酪農喫茶) を開始した。その後、H26 年 5 月、農林水産省の 6 次産業化推進事業を活用し、新たに店舗を建築し、自社産原料を使用するステーキ主体のレストラン営業 (店名：レストラン ATTOKO) を開始した。</p> <p>食肉加工については、当社で肥育した日本短角種を使った、ビーフシチュー、ビーフカレーの冷凍総菜の加工販売とハンバーグ、すきやき、しゃぶしゃぶ用スライスの精肉販売を主体に行っており、ともに BtoB、BtoC 事業として展開している。</p>	女性農業者の 人数の：9名

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制

○事業実施管理者 代表取締役
・女性が働きやすい環境の整備を実施
・環境の整備を踏まえた求人、根室市・JA道東あさひ根室支所への情報提供と情報交換

○女性相談窓口・会計責任者 女性取締役

- ・役員は女性従業員から意見を聴取、顧問先と共有しながら事業を推進する。特に子育て社員との意見交換を重視する。

顧問 税務会計 税理士法人 税務事務所

顧問 労働衛生 社会保険労務士法人事務所

顧問 ベトナム人支援 出入国在留管理庁登録支援機関

○更衣室・休憩室管理担当

畜産部門 哺育・治療主任

(清掃については従業員でシフトを組み、毎日行う。)

○乗用型電動台車管理担当

使用管理 畜産部門 1, 2号牛舎主任

定期点検・修理 畜産部門 工場長

(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

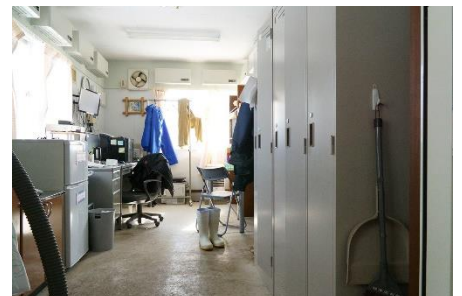
- ・R4年度畜産クラスター整備事業で経産牛300頭までの規模拡大を進めており、積極的に女性の雇用を増やしていきたい。また、規模拡大により、今までJAに委託していた家畜人工授精を自社化、仕事上きめ細やかな作業が必要であることから女性授精師を採用したい。
- ・一方で、地域ではコロナの影響での乳製品在庫の過剰により生産抑制に入っていること、戦争による資材、燃料等の価格の高騰によって減収が続いていることから、離農者が増えている状況である。当社においては男女別トイレを規模拡大に合わせてR4年に自社で設置したがそれ以上の労働環境の整備へ投資することが難しく、女性の確保が難しい状況である。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

- ・女性従業員（役員含む）の9名のうち、7名が畜産部門（酪農）に従事。

○更衣室・休憩室の必要性

- ・作業場内に男女兼用トイレを設置したものの、女性従業員からは更衣室が作業場内現場事務所内男女兼用のロッカーしか無く「着替えもすることからプライベートが確保できず、利用しづらいため、「生理などで辛いときに休む場所がない」との声をもらっている。さらに整備にあつたては酪農という仕事柄、作業着、長靴が家畜の糞尿がつくために、かなり汚れることから、衛生上も玄関を分け、長靴等を収納する下駄箱の設置も要望されている。



現状の更衣ロッカー

○乗用型電動台車の必要性

- ・規模拡大に伴い牛舎の延長も拡大、1棟は82m、1棟は130m、舗装された外構を横断した資材倉庫までは180mに及ぶ。現在、通常の台車で資材を運んでいるが女性従業員からは「距離が長く何度も往復するので疲れる」「台車に重たい荷物を載せると押しにくい」との訴えがあり、電動アシスト付き乗用タイプの新たな台車を各棟に一台ずつ、計2台求められている。



130m牛舎と台車作業

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

- ・女性の雇用を確保し、定着させていくためには、本事業で取り組む、労働の安全衛生に係る2か所の玄関がある男女別更衣室、休憩室の設置と労働負荷軽減につながる乗用型電動台車の導入が欠かせない。他産業においては当たり前の働きやすい環境の整備と先進性を進めていく必要がある。また、整備後、当社のホームページなどで取り組みを紹介することで、地域の女性従業員の働く場の改善につなげること、労働負荷の低減を促すことに寄与出来る。



乗用型電動台車 <https://ele-tro.newseed.co.jp/>

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画(実績)

確保する施設等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他						
区分番号(注1)	時期	確保場所	数量	利用する女性農業者(注2)の人数	事業費(千円)	国庫補助金	備考
③ ④ 更衣室 休憩室	R5.7	農場牛舎棟中央	1式	7	2,420	2,200	
⑥ 乗用型電動台車	R5.7	1号牛舎 2号牛舎	2台	7	796	723	

計	3	7	3,216	2,923	
---	---	---	-------	-------	--

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分 ①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他							
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費 (千円)		備考
						国庫補助金	
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

--	--

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
通年	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>○呼び込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農時の働き方がわかる採用情報ホームページの充実 採用情報 - 明郷 伊藤☆牧場 (akesatoitodairyfarm.com) ・新農業人フェアへの出展 ・農業インターンシップ受け入れ農場としての登録 ・ハローワーク、リクルート社エアワークでの求人募集 ・北海道農業大学校先進農家体験学習の受け入れ <p>○定着</p> <p>労働環境面で、女性労働者の定着を目的として出産・育児休暇制度を導入している（令和4年度1名の女性が本制度を活用）また、子育てに合わせた時短就業、日曜祝祭日でのシフト調整を行っている。（女性従業員の有休消化率は100%）</p> <p>○活躍</p> <p>スキルアップの向上を図るため地元道東あさひ農協や農業改良普及センター主催の研修会に積極的な参加を促し、毎日行われるミーティングで情報を共有し、日々の技術スキルを高めている。（畜産部門主任職女性2名）</p> <p>また、酪農教育ファーム認証牧場として毎年10府県程から北方領土学習の一環で酪農体験を受け入れている。（酪農教育ファームファシリテーター有資格者女性1名）</p> <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>R4年度畜産クラスター整備事業で経産牛300頭までの規模拡大を進めており、搾乳、給餌、繁殖、治療など丁寧さを必要とする仕事で女性を1名採用したい。また、規模拡大により、今までJAに委託していた家畜人工授精を自社化、仕事上きめ細やかな作業が必要であることから女性授精師1名を採用したい。</p>	

	<p>【具体的に実施する取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境の整備に向けた社内検討会 年4回 ・社会保険労務士、外国人受け入れ支援機関への相談 月一回 ・ハローワーク・エアワーク・ホームページでの求人情報の掲載 通期 ・新農業人フェアへの出展 4回 ・農業インターンシップ(日本農業法人協会)受け入れ農場の登録と受け入れ 年5名程度 通期 ・環境の整備を踏まえた求人、根室市・JA道東あさひ根室支所への情報提供と情報交換 	<p>【目標】年間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの受け入れ5名 ・採用面接5名
--	--	--

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標 (注)

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注)	事業実施年度	1人
	事業実施翌年度	1人
	合計	2人
<p>(女性農業者の新規確保人数の内訳)</p> 自営農業就業者 人、雇用就農者 2人、 アルバイト等 人		

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

(参考)

<p>上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 (第4の(1)「施設等確保の取組」の応募者のみ記載)</p>
<p>【事業実施年度】 (取組予定業務) 酪農部門 (搾乳、給餌、清掃、哺育、繁殖及びそれに付随する管理業務) (採用時期) 6月 (人数) 1名</p>
<p>【事業実施翌年度】 (取組予定業務) 酪農部門 (搾乳、給餌、清掃、哺育、繁殖及びそれに付随する管理業務) (採用時期) 4月 (人数) 1名</p>

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。